

グループ交流支援補助金申請書

(申請日) 令和〇年 〇月 〇日

1 申請者

グループ名	〇〇〇の会			
住所 ※法人格等を有するグループの場合	〒880-〇〇〇〇 宮崎市〇〇町△△番地	・代表者は原則として渡航者に含まれること（グループが法人などの場合は渡航者でない法人の代表者でも可） ・押印は不要		
代表者名	宮崎 太郎			
代表者 電話番号及びメールアドレス	(電話) 0985-〇〇-××××	(メール) miyazaki-△△△@▲▲▲.com	申請後に事務局から連絡することがあるため、いずれも記入すること	

2 旅行内容

人数	4 名		
渡航先 (該当に〇)	韓国・ <u>その他</u> (シンガポール 経由(韓国))	乗継の有無	<u>有</u> ・無
	往路のみ・復路のみ・ <u>往復</u>	乗継航空会社	アジア航空
渡航日程	往路	出国 令和〇年 〇月 〇日(金) 〇〇時〇〇分 宮崎空港発 便名: 〇Z~	
		(乗継の場合) 令和〇年 〇月 〇日(金) 〇〇時〇〇分 仁川空港発 便名: 〇Z~	
	復路	(乗継の場合) 令和〇年 〇月 ×日(火) 〇〇時〇〇分 仁川空港発 便名: 〇Z~	
		帰国 令和〇年 〇月 △日(水) 〇〇時〇〇分 宮崎空港着 便名: 〇Z~	
交流内容 (該当に〇)	1 <u>1</u> 昼食・夕食での親睦・交流      2 関係団体・企業等表敬訪問 3 歴史文化関連施設等の視察      4 その他 ( )		

国際線を片道利用の場合でも、出入国の空港及び発着時間、便名を記入。福岡空港経由で帰る場合は「〇時△分福岡空港着」

- 注1: 参加者全員の搭乗券(空港の航空会社窓口で発行されたもの、写しでも可)を添付すること。
- 注2: 法人格を有するグループの場合、事務所等の所在地または代表者の住所が分かるものを添付すること。それ以外の場合、グループ全員の住所が分かるもの(免許証、健康保険証の写し等)を添付すること。  
※満18歳未満の方は親権者のものでも可
- 注3: 渡航終了後14日以内に提出すること。ただし、14日以内に当該年度の3月31日を迎える場合は、3月31日までに提出すること。

# 記入例

## 3 補助申請額

補助申請額	28,000 円
-------	----------

① 県内グループ（4～8名）  
→ 20,000円  
② 乗継加算（往復利用）  
→ 2,000円×4名  
合計 ①+②=28,000円

## 4 補助金の振込を希望する金融機関

金融機関名	(振込銀行) ○○銀行 (支店名) ××支店
預金種目	普通預金
口座番号	△△△▲▲▲
フリガナ 名義人	ミヤザキ タロウ 宮崎 太郎

## 5 参加者名簿（グループ名：○○○の会）

	氏名	性別	年齢	住所
1	宮崎 太郎	男・女	49	宮崎市○○町△△番地
2	宮崎 花子	男・女	45	宮崎市
3	○○ ●●	男・女	16	○○町
4	▲▲ △△	男・女	13	△△村
5		男・女		
6		男・女		
7		男・女		
8		男・女		
9		男・女		
10		男・女		
11		男・女		
12		男・女		
13		男・女		

※ 代表者は番地等詳細に記入。他の渡航者は住所地の市町村名（県外在住者は都道府県名から）のみ記入で可。人数が多数になる場合は、行を追加して記入すること。

※ 県内グループとは、以下のいずれかの要件を満たす場合とし、それ以外のグループは県外グループとする。

① 法人格を有するグループの場合、グループ（グループの事務所等の所在地または代表者の居住地）の所在地が宮崎県内にあること。

② グループ構成員の半数以上の居住地が宮崎県内にあること。